



折り返しを勢いよく駆け抜ける

真夏の暑さに
負けない走り



ゴール前、声援に応えて力を出し切る

第34回 中国山地日野 鵜の池マラソン大会

招待選手に、タレントの猫ひろしさんを迎え、
300人が鵜の池湖畔のさわやかな風の中、
マラソンを楽しむ

今年には招待選手にタレントの猫ひろしさんを迎え、にぎやかに開かれたほか、会場では恒例の地元野菜たっぷりのみそ汁サーブ、アユの塩焼きや手作り弁当などのバザーも設けられ、選手とふれあい、笑顔あふれる大会となりました。

7月31日、第34回鵜の池マラソン大会（同実行委員会主催）が開かれ、約300人の選手が参加しました。選手たちは、鵜の池湖畔を折り返す2キロや町道日野金城1号線まで距離が延びる5キロ、5キロを折り返す10キロの3コースを年齢に分かれたクラスで走りました。



気軽に走れるのも、この大会の魅力



出場選手最高齢の
宇田春男さん（黒坂）



鵜の池湖畔のさわやかな風が選手を癒す



猫ひろしさん、
楽しかったです
ありがとう



交通安全母の会の皆さんが交通安全を広報

「にゃ〜」と元気よくスタート



【セルフひの】



【大夢多夢】



【岩屋クラブ】

交流で笑顔が溢れる

バザーや抽選会



地元特産品などが当たる抽選会は大盛り上がり



地元の野菜が入ったみそ汁に舌鼓を打つ



中岡みずえさん（左）と楽しいトークを披露

猫ひろしトークショー

会場は大爆笑！

鵜の池マラソンの前日となる7月30日、町文化センターで猫ひろしトークショー（Dオスポーツ主催）が開かれ、司会を務めたラジオでおなじみの中岡みずえさんとの掛け合いに、会場は笑いに包まれました。猫さんは、マラソンを始めたきっかけやロンドンオリンピックマラソン競技でカンボジア代表を目指していることなどを気さくに話しました。中岡さんからは、皆生トリアスロンに挑戦してほしいとお願いされ、将来の出場を誓いました。